

岩代町農業協同組合（JA岩代町）



代表理事組合長	渡 辺 正 市	役 員 数	29名
所 在 地	〒964-03 安達郡岩代町 西新殿字野竹内19	理 事	23名（うち常勤 2名）
	☎0243-57-2211	監 事	6名
設 立 年 月 日	平成5年3月1日	職 員 数	65名（男47名 女18名）
		臨 時	2名

I 地 区 の 概 況

当地区は、二本松市と浪江町の間位置し、国道459号が地区の中央を東西に横断して幹線道路となり、これに国道349号、県道、町道が交差あるいは平行して交通網が結ばれている。

地形は、阿武隈高地の山間高冷地帯で、日山、麓山をはじめ大小高低の山々がつらなり、起伏が多く耕地は点在している。標高は最高600mから最低250mに散在して耕作は容易でない。

気温は、月平均最高27.5℃、最低4.3℃、年

間平均10.5℃で、県内では比較的低い方である。降水量は、年間1290mmで、初霜は10月10日、晩霜は5月25日頃まであり、初雪は11月28日、終雪は4月10日頃である。

町は昭和30年1月1日、小浜町、新殿村、旭村と太田村の一部が合併して岩代町となる。

地域全体に占める農家率は64%と高い農村地域だが、他産業への就労が急激に進み農業就労の減少によって農業生産の確保が課題である。

Ⅱ 50年のあゆみ

1 地区農業の変遷

当地区内の農業は、地形上急傾斜地の利用が必要であり、傾斜に栽培できる作物として桑が一番適していた。食糧難の時代は、麦類、大豆、いも類の作付が多かったが、食糧事情が逐次緩和されるに従い桑への転換が行われ、県内で最も養蚕農家率の高い地域となった。特に昭和45年までは、養蚕農家戸数の伸びがみられ、桑園面積、収繭量については55年まで伸びがみられたが、絹製品の輸入増加等もあって59年には減産が打ちだされ、基準糸価も引き下げられたため

農家の生産意欲が減退し、その後養蚕農家は年々減少の一途をたどっている。

その他の作目をみると、葉たばこの生産額も50年までは急激に伸びているが、その後の生産額の伸びはあまりみられない。畜産については年々生産額の上昇がみられ、特に49年麓山畜産基地建設後、飼養形態は大きく変化し、大規模農家が増加した。果樹、野菜については、比較的生産が少なく販売額は極めて低い、水田転作等がきっかけとなって年々増加の傾向にあるが、その速度は遅い。

農業経営は、米を中心に養蚕、葉たばこ、菌

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

年次		25	35	40	50	60	2
項目	総農家戸数 (戸)	1,883	1,994	1,916	1,746	1,628	1,508
	うち 専業 (戸)	1,447	1,163	707	201	163	109
	I種兼業 (戸)	223	472	864	524	457	248
	II種兼業 (戸)	213	359	345	1,021	1,008	1,151
	経営耕地面積 (ha)	1,985	2,172	2,072	1,967	1,873	1,860
収 穫 面 積	うち 田 (ha)	669	741	737	696	685	709
	畑 (ha)	678	787	693	464	329	325
	樹園地 (ha)	638	644	642	807	859	662
	稲 (ha)	652	733	736	598	605	544
	麦類 (ha)	542	513	431	62	7	5
	野菜類 (ha)	107	151	72	63	42	60
	果実類 (ha)	1	2	7	9	13	21
	桑園 (ha)	637	640	633	797	844	640
	飼料用作物 (ha)		81		147	154	184
	たばこ (ha)	123	152	181	117	134	80
	乳用牛 (頭)	78	480	480	609	875	540
	肉用牛 (頭)	285	867	971	1,481	1,551	1,771
飼 育 頭 数	豚 (頭)	25	243	243	396	278	11
	にわとり (千羽)	2	14	23	22	3	1
	ブロイラー (千羽)						404

(注) ブロイラー 50年以降は出荷羽数

茸、畜産とそれぞれの組合せによる複合経営であったが、高度経済成長の時期と歩調を合わせるように、農家世帯数と人口の流出がみられ、また農業と他産業との所得の格差がそのまま兼業化へと移行し、特に45年から50年。オイルショックの時期にかけての転業が目立つ、また55年から60年にかけては第2種兼業農家の急激な増加がみられた。

2 経営の推移

(1) 農業協同組合の設立

J A岩代町の前身は、小浜町農業協同組合、

新殿村農業協同組合、旭村農業協同組合である。

昭和23年にそれぞれの町、村の農業会の資産を受け継いで誕生した。

農協発足当時は、信用事業中心の活動であったが、食糧難の時代であり食糧の増産に努めた。経営は、全体的に大変だったようである。

(2) 有線放送事業

31年には、新農山漁村建設総合事業の地域指定を受けた。その主な内容は土地条件の整備、主要農作物の改良増産、畜産の振興、養蚕経営の改善、林産資源の活用、特用作物の振興、総合経営の改善および生活文化の向上を大きな柱

図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

年度		24	30	40	50	60	5 (合併年度)
項目							
正組合員戸数(戸)		1,833	1,844	1,876	1,854	1,680	1,599
准組合員戸数(戸)		54	76	118	136	196	259
資 産	余 裕 金	9,899	22,581	147,672	892,324	2,739,925	6,401,813
	貸 出 金	6,395	48,001	197,102	1,341,626	2,919,959	2,383,710
	その他流動資産	1,831	21,832	66,807	378,540	638,233	644,474
	固 定 資 産	1,081	3,834	15,380	139,160	162,560	177,607
	外 部 出 資	160	914	5,952	22,055	72,626	114,782
負 債 及 び 資 本	貯 金	16,676	61,195	320,189	2,312,436	4,631,680	8,143,062
	借 入 金		24,585	55,734	102,908	912,441	323,454
	そ の 他 負 債		3,797	29,723	259,770	697,885	828,794
	出 資 金	580	7,663	23,480	83,708	196,915	258,196
	積 立 金	44	74	900	9,480	74,680	163,354
主 な 事 業 実 績	剰 余 金	-61	-152	2,887	5,403	19,702	5,526
	販 売 取 扱 高	40,137	55,144	183,451	475,607	1,057,184	770,154
	うち 米 穀		45,439	116,619	272,506	398,564	205,168
	青 果 物		434	4,987	42,114	203,431	168,152
	畜 産 物			49,749	148,753	29,327	99,975
	購 買 取 扱 高	9,974	29,914	138,182	757,555	844,648	936,478
	うち 生産資材		26,329	123,168	641,532	688,592	744,609
	生活資材		3,585	15,014	116,023	156,056	191,869
主 な 事 業 実 績	長期共済保有高			96	14,801	67,322	10,459

(注) 合併年度は最新合併年度 合併以前の年度は合併参加農協の合計

とする事業であった。

農協では農事放送事業に取り組んだ。各家庭に受話器を設置し、個別に通話ができるとともにニュースや農事放送、それに音楽などが流され、緊急事態が発生すれば直ちに一齐放送が流れるなど、大変利用価値の高いものであった。設置当時は鉄線だったため、電柱間のスパンの長短により雪害による断線、又は大風による鉄線間の接触による通話不良等が各所に発生し、保守係員が昼夜の別なく回復に懸命に努めなければならなかった。特に雪害にあっては、雪中における作業は言語に絶するものがあった。そのため5年後に全線をケーブル線としてトラブルの解消をはかり、49年まで継続した。

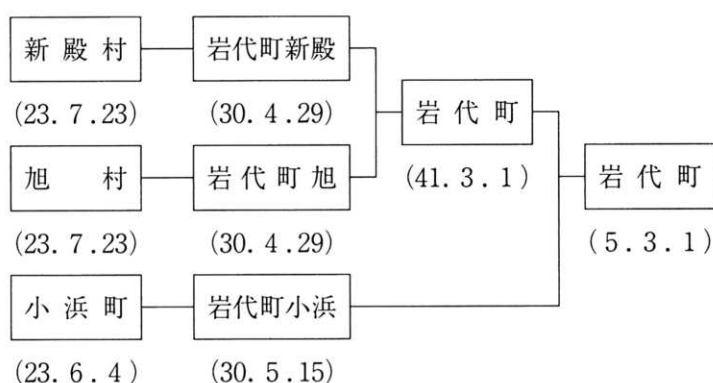
(3) 一齐貯蓄運動

34年には、中央会、信連により全県下一斉貯

蓄運動が打ち出され、全農協参加で実施された。役職員が一体となり、農事組合長を初め各生産団体長に推進委員をお願いし、目標額の必達を期すべく運動を展開した。目標額は、純増加で約40%と大きな目標であった。10月から役員、推進委員及び全職員が一丸となり必達を期して運動を展開、期間中は日曜祭日を返上して各組合員宅を訪問し、貯蓄高を積み上げた。特に12月の最終月に入ると、寒い毎日降る雪に長靴も取られる程の山道を、言語に絶する苦労を重ねて巡回訪問した。結果はみごと目標を達成、皆で万才して成果を祝った。

この推進方式は、後に共済事業推進についても取り入れられ、各種生産団体の協力を得て推進することとなった。

図表 3 合併等の経緯



図表 4 合併参加農協の概要

合併年月日	組 合 名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
41. 3. 1	岩代町新殿	三浦 磯路	728	13	19
	岩代町旭	遠藤 至郎	405	10	8
5. 3. 1	岩代町	三浦啓三郎	1,206	15	40
	岩代町小浜	渡辺 正市	854	14	27

(4) 合併

30年、町村合併が行われ、小浜町、新殿村、旭村、太田村の一部が合併し岩代町となった。

農協の合併についても研究会が設立され、40年、3農協同時に合併総会が開催されたが、岩代町小浜農協では否決され、岩代町新殿農協と岩代町旭農協が合併し岩代町農業協同組合となり、管内2農協でその活動を行うこととなった。

農協の経営も60年頃までは、農業施設等への

投資もあり貸付金も順調に増加したが、60年以降貸付も減少傾向となり、また金融の自由化の進展、農産物の輸入自由化等もあり、年々きびしい経営となってきた。

この新しい時代に対応して合併が検討されるようになり、平成4年になって、2農協の合併研究会、合併促進協議会が設立されて5年3月1日、新生「岩代町農業協同組合」が誕生した。

Ⅲ 年 表

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
23年		32年	
6. 4	小浜町農業協同組合発足	5. 30	信連 貯蓄成績優良農協表彰（新殿）
7. 23	新殿村農業協同組合発足	5. 30	婦人貯蓄組合、優良 J A 婦人貯蓄組合として農林中金支所長表彰（旭）
7. 23	旭村農業協同組合発足		
28年		33年	
9. 30	三輪車を購入運輸事業開始（小浜）	5. 1	有線放送事業業務開始加入戸数605戸（新殿）
9. 30	石造り農業倉庫建設（新殿）	5. 8	購買倉庫建設（小浜）
29年		5. 29	信連 貯蓄成績優良農協表彰（新殿）
5. 5	鶏卵の集荷事業開始（小浜）	10. 30	農業倉庫建設（旭）
6. 21	信連 貯蓄優良組合表彰（新殿）		
30年		34年	
1. 1	小浜町、新殿村、旭村、太田村の一部が町村合併して岩代町が誕生	5. 9	全共連 農協共済保有100億円達成記念大会で共済事業優績組合として表彰（小浜・新殿）
4. 29	岩代町新殿農業協同組合と名称変更	5. 29	信連 貯蓄成績優良農協表彰（新殿）
4. 29	岩代町旭農業協同組合と名称変更	6. 26	全共連 共済優績表彰（小浜・新殿）
4. 29	共済規程設定、共済事業開始（新殿・旭）	7. 31	更生特別措置の指定を受ける（旭）
5. 15	岩代町小浜農業協同組合と名称変更		
5. 15	共済規程設定、共済事業開始（小浜）	35年	
5. 30	貯蓄成績優良農協表彰・婦人貯蓄組合優良農協婦人貯蓄組合表彰（新殿）	4. 30	県の1万羽集団養鶏指定、小浜養鶏振興会設立（小浜）
31年		5. 30	共済連 長期共済契約高優秀農協表彰（新殿）
4. 30	新農山漁村振興事業により有線放送開始加入戸数765戸（小浜）	5. 31	経済連 系統利用優良農協表彰（小浜）
4. 30	和牛仔牛セリ市場開設（小浜）	12. 3	購買倉庫建設（小浜）
5. 30	信連 貯蓄成績優良農協表彰 努力賞（新殿）	36年	
		5. 29	共済連 長期共済契約高優秀農協表彰（小浜・新殿）

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
37年		43年	
4.30	職員労働組合設立 労働協約締結(小浜)	7. 8	福島県家畜導入補助事業実施要綱により和牛仔牛導入開始
5.30	経済連 鶏卵販売優良農協表彰(小浜)	7.10	岩代給油所新設オープン(岩代)
7.	農業構造改善事業により一万羽養鶏事業推進 集卵所建設・小型トラック購入(新殿)	44年	
11.	葉たばこ代金全額農協口座振込となる(旭)	4. 1	町収納代理金融機関事務取扱開始(岩代・小浜)
38年		5.28	共済連 共済保有契約優績農協表彰(岩代)
5.	経済連 飼料取扱優良農協表彰(新殿)	7.31	農業機械サービスセンター開設(岩代)
39年		10.31	旭事業所購買倉庫新築落成(岩代)
2.25	組合長 三浦磯路 共済500億達成記念大会で功労者表彰受賞(新殿)	45年	
5.29	共済連 新契約優績農協表彰(新殿)	11. 4	蔬菜振興大会開催(岩代)
5.30	経済連 鶏卵販売優良農協表彰(新殿)	46年	
5.30	経済連 飼料取扱優良農協表彰(小浜)	3.31	稚蚕飼育専用桑園造成(687a)(小浜)
6.10	全共連 共済事業優績組合として表彰受賞(新殿・小浜)	5. 8	稚蚕共同第2飼育所落成(収容能力一蚕期最大1000箱)(小浜)
40年		5.30	婦人部 信連優良婦人部貯蓄組合表彰(小浜)
5.27	経済連 鶏卵販売優良農協表彰(新殿・小浜)	6. 1	県税取扱開始
5.28	共済連 保有契約優績農協表彰(小浜・旭)	8.21	本所事務所起工式(岩代)
9. 9	小浜和牛仔牛市場廃止	47年	
12.19	合併臨時総会同時開催 合併可決(新殿・旭) 合併否決(小浜)	1.14	本所事務所新築落成
41年		5.18	田沢久根ノ内に蔬菜集荷所新築落成(岩代)
1.12	合併設立委員会設立(新殿・旭)	6.22	新殿事業所を七色石から本所内に移転(岩代)
3. 1	岩代町新殿農協・岩代町旭農協が合併し岩代町農業協同組合発足	11. 8	田沢久根ノ内に水稻育苗センター設置(40ha 規模)(岩代)
5.30	経済連 鶏卵販売優良農協表彰(岩代・小浜)	48年	
5.31	共済連 長期共済契約優績農協表彰(岩代)	2.25	出稼者現地懇談会(東京)(岩代)
7. 1	草地造成事業実施(小野内山ほか23ha)(岩代)	3.10	飼料基盤整備事業実施(岩代)
8. 1	自賠責共済取扱開始	3.12	野菜集出荷所新築(小浜)
9.24	旭事業所事務所新築落成(岩代)	4.	麓山畜産基地建設事業用地買収始まる
11. 1	購買基幹倉庫新築落成(岩代)	9.21	安達地方農協合併部落座談会
42年		9.28	安達地方農協合併予備契約調印
3. 6	旭婦人部 婦人部貯蓄優良組合として信連表彰(岩代)	12.15	安達地方農協合併臨時総会 (否決農協が多数のため合併不成立)
4.20	郡養蚕連に加入(小浜)	49年	
10.31	3号農業倉庫新築落成(岩代)	4. 1	水稻育苗センター設置(60ha 規模)(小浜)
		6.26	事務所新築落成(小浜)
		10. 1	内国為替業務取扱開始(岩代)
		10.31	稚蚕飼育所専用桑園造成(2ha)(小浜)

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
50年		5.27	共済連 長期共済優績農協表彰（岩代）
3. 1	有線放送事業廃止（小浜）	8.31	二本松地区農機具ＳＳ解散
4. 2	新殿育苗センター設置(80ha規模)(岩代)	9.25	信用事業オンラインシステム稼働(小浜)
4. 2	農機具格納庫新設（岩代）	59年	
5. 1	共済連 戸当たり保有優績農協表彰（岩代）	2.13	県内農協貯金業務ネットサービス開始
11. 1	蔬菜集荷所落成（岩代）	4.14	第1回農始まつり（岩代）
51年		4.20	地区内養蚕農協を合併（小浜）
.	新殿婦人部菊地ミイ 農協婦人部創立25周年大会に於いて組織功労者表彰(岩代)	5.22	全共連 共済事業優績表彰（小浜）
51年		6.15	婦人部再編（小浜）
8. 1	岩代町農業後継者育成資金制度発足	12.12	農協年金友の会設立総会（岩代）
10.12	岩代地区農協合併研究会設立	60年	
10.16	合併10周年第1回農協祭（岩代）	1.20	第1回新組合員懇談会開催（岩代）
52年		2.10	青年部再編（小浜）
4.27	協同活動強化3ヶ年計画樹立（岩代）	3.15	旭支所 ＣＤオープン（岩代）
53年		61年	
5. 1	組織機構一部変更により金融課新設 営農指導を業務課へ移行（岩代）	8. 7	ＣＤオープン（小浜）
5.21	組合長 安斉禧信逝去（岩代）	10.15	新殿支所ＣＤオープン（岩代）
5.27	共済連 戸当保有1000万以上達成表彰（岩代）	11.27	旭婦人部斎藤マサヨ 農協婦人部創立35周年記念大会で組織功労者表彰（岩代）
54年		62年	
5.29	共済連 戸当保有優績農協表彰（小浜）	1.20	園芸振興大会（岩代）
55年		2. 8	婦人部 健康まつり（岩代）
7. 7	岩代地区農協合併基本構想部落座談会（岩代・小浜）	63年	
11.10	臨時総会（借入金最高限度額変更 冷害営農対策低利資金借入）（岩代）	5.20	信連家計メイン化特別賞 1000点運動優績農協表彰（岩代）
12.24	大雪害発生（住宅97件 農業施設550件）（岩代）	元年	
56年		3.20	共済友の会設立総会（岩代）
4.14	第1稚蚕共同飼育所落成（小浜）	5. 1	給油所取得（小浜）
7. 6	蔬菜部会設立（岩代）	5.19	全共連 共済優績表彰（岩代）
12.10	旭事業所に麦大豆集出荷所建設（岩代）	6.12	購買事業オンラインシステム移行(岩代)
57年		8. 6	台風13号により口太川氾濫百目木地内の水害甚大 建更共済支払7000万円超える
3. 1	組織機構一部変更、営農指導と販売事業を業務課から分離 農産課を新設(岩代)	2年	
9. 1	葬祭事業開始（岩代）	2.28	野菜菌茸等集出荷施設完成（岩代）
11. 1	宿直業務警備保障会社委託（岩代）	2.28	なめこ販売1億円目標達成（岩代）
58年		12.13	通風式片側差圧予冷库設置（新農村地域定住化促進対策事業）（岩代）
5.14	内国為替取引規程一部変更事業所を支所と呼称変更（岩代）	12.20	給油所拡張洗車機導入（小浜）
5.16	信用事業オンラインシステム稼働(岩代)	3年	
		5.18	信連 家計メイン化運動優績農協優秀賞受賞（岩代）
		6.17	ゴルフクラブ設立総会（小浜）
		10.23	岩代給油所オンラインポス稼働（岩代）

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
4 年		5 年	
3.14	C I 分科会開催（岩代）	2.23	J A 合併認可書交付
4. 1	愛称を農協から J A に 麦穂マークから J A マークに変更	3. 1	J A 岩代町と J A 岩代町小浜が合併し岩代町農業協同組合発足
4.18	J A 21 戦略第 1 期 3 ケ年計画樹立	3. 3	第 1 回農始まつり
6. 1	合併部落座談会（岩代）	3.30	組合員大会開催 総代選挙実施
6.30	岩代地区 J A 合併促進協議会設立	5.20	J A 全共連 共済優績表彰
7. 5	サンデーバンキング稼働（岩代）	6. 1	町指定金融機関業務開始
9.21	合併財務確認	6. 1	旭支所・小浜支所 A T M 自動運行スタート
10.12	合併部落座談会（小浜）	8.17	農作物異常気象対策本部設置
10.15	合併部落座談会（岩代）	10.23	第 1 回 J A まつり
10.27	合併予備契約締結	11.10	岩代町養蚕農協との合併検討委員会
11.14	臨時総会（合併）（岩代・小浜）	11.10	酪農部門開設検討委員会
11.17	第 1 回設立委員会	6 年	
12. 2	加工トマト生産部会発足（岩代）	2. 1	岩代町養蚕農協財務確認
	岩代町加工トマト生産組合解散（岩代）	2. 6	J A 岩代町ヘルプふれ愛グループ設立（よつば会）
12.31	第 1 稚蚕飼育所人工飼料育に改造（小浜）		

Ⅳ 資 料

（平成 5 年度末現在）

1 組 合 員

（ ）は戸数

正 組 合 員		准 組 合 員		合 計	
個 人	法人	個 人	団体	個 人	法・団
1,627 (1,599)	2	487 (259)	16	2,114 (1,858)	18

2 役 員 及 び 参 事

代表理事組合長	理事 鹿 又 喜三郎
渡 辺 正 市	理事 菅 野 徳一郎
代表理事副組合長	理事 渡 辺 要 成
三 浦 啓三郎	理事 石 井 秀次郎
理事 三 浦 常 保	理事 石 川 健 一
理事 門 馬 庄 三	理事 伊 藤 彦 武
理事 伊 東 弘 毅	理事 秋 元 富士雄
理事 武 藤 昭 三	理事 菅 野 孝 雄
理事 伊 東 大 一	
理事 相 馬 章	代表監事
理事 佐久間 光 善	佐久間 正七
理事 遠 藤 吉 三	監事 三 浦 正之助
理事 橋 本 隆 一	監事 桑 原 正 吉
理事 遠 藤 栄 一	監事 佐久間 佑 基
理事 佐久間 多市郎	監事 佐 藤 正 治
理事 遠 藤 定 一	監事 鈴 木 敏 道
理事 渡 辺 登志男	
	参事 菅 野 広 通

3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
47	18	65	2	2

4 協力組織

名 称	代 表 者	会員数
農事組合		80組合
新殿婦人部	吉 田 久 子	95
旭婦人部	斎 藤 マサイ	73
小浜婦人部	遠 藤 恵 子	352
青年部	菅 野 周 一	18
年金友の会	菊 地 新 江	1,332
年金友の会新殿支部	菊 地 新 江	(515)
年金友の会旭支部	菅 野 末 吉	(381)
年金友の会小浜支部	佐久間 勝 吉	(436)
共済億友会	桑 原 文 明	266

5 生産部会

名 称	代 表 者	会員数
しいたけ部会	佐久間 孝	36
養蚕部会	菅 野 昭 寿	78
なめこ部会	山 崎 清 之	14
きのこ部会	佐久間 一 夫	8
生食トマト部会	佐久間 久 夫	13
きゅうり部会	渡 辺 博 信	24
いんげん部会	山 田 正 一	82
さやえんどう部会	中 山 博 之	113
チェリートマト部会	本 多 正 栄	9
加工トマト部会	中 山 博 之	14
促成そさい部会	遠 藤 輝 雄	10
肥育牛部会	門 馬 庄 三	21
農協有貸付牛部会	遠 藤 善次郎	139
青色申告会	佐 藤 徹	46
新殿育苗センター 運営委員会	佐 藤 市 也	24
旭 〃 〃	高 本 福 治	18
小浜 〃 〃	大 内 義 博	23

6 主な施設

名 称	所 在 地
本 所	西新殿字野竹内19
旭 支所	百目木字町178-1
小浜 〃	小浜字鳥居町23-1
岩代町給油所	西新殿字野竹内3-2
小浜 〃	小浜字新町36-1

7 歴代組合長・常勤理事・参事

組 合 長	副 組 合 長
5 ～ 渡辺 正市	5 ～ 三浦啓三郎

参 事
5 ～ 菅野 広通

8 合併前の歴代組合長

岩代町新殿農協

23～24	鹿又 貢	29～32	三瓶 哲雄
24～26	佐久間多門	32～35	菅野 弘
26～29	安斎 美富	35～41	三浦 磯路

岩代町旭農協

23～30	福安 源盛	39～41	遠藤 至郎
30～39	渡辺 丈夫		

岩代町農協

41～42	遠藤 至郎	54～56	佐久間勝雄
42～51	佐久間勝雄	56～60	遠藤 至郎
51～53	安斎 禧信	60～ 5	三浦啓三郎
53～54	遠藤 至郎		

岩代町小浜農協

23～29	高済 国保	39～53	遠藤 敬蔵
29～34	桑原 正二	53～56	渡辺 吉信
34～35	渡辺 早好	56～ 5	渡辺 正市
35～39	渡辺 丑政		

9 經營管理機構

